

第1回資金管理業務諮問委員会・議事概要

1. 日時：2003年10月17日15時～17時20分
2. 場所：財団法人自動車リサイクル促進センター313号室
3. 出席者：酒井委員、辰巳委員、永田委員、細田委員、松田委員、米澤委員、渡辺委員
4. 議題：①自動車リサイクル法の概要と資金管理センターの役割等について
②資金管理業務規程（案）について
5. 議事概要
※ 本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については後日、議事録を公表いたします。

(1) 各委員の紹介があった後、委員の互選によって永田委員が委員長に選出された。

(2) 議題①について

「自動車リサイクル法の概要」「資金の流れと資金管理センター役割」「諮問委員会の位置付けと今後のスケジュール」について、資料3・4・5を使って事務局が説明。諮問委員会の情報公開の在り方等、了解された。

なお、情報公開の在り方に関連し、自動車リサイクル促進センターとして定期的に一般にPRする方法について今後更に検討していくこととした。

<意見>

- 利息計算等自動車1台ごとに行う資金管理業務は効率的な運営に留意する必要がある。
- 情報提供という観点から、産業構造審議会など他の機会も使って、資金が適正に管理・運用がされていることを積極的に伝えていくべきである。
- ホームページに資金管理業務諮問委員会の資料、事業計画、予算、事業報告、決算等が情報開示されても、その内容が理解できるかは疑問。資金管理・運用が適正になされていることを説明した一般向の小冊子の作成等も必要ではないか。
- コンサルタントや監査法人など外部機関にアドバイスしてもらうことは、ガバナンスという点でも望ましい。

(3) 議題②について

資金管理業務規程（案）のポイントとして、リサイクル料金等の收受、

預託の証明、中古車輸出時のリサイクル料金等の返還実務、業務運営の公開性・透明性確保のための取組みについて、資料6・7を使って事務局が説明。委員から以下のような意見があった。用語集や業務規程で引用している「倫理規程」「情報公開規程」「調達規程」については、次回以降整備された段階で、委員に提示・報告することとした。

<意見>

- 「リサイクル料金等」など、正確な内容のわかりにくい用語があるので、用語解説集を作成する必要がある。情報公開の時にも用語集があれば、市民にとって理解しやすい。
- 預託金の総額は1兆円を超える金額になることが予想される。どれ位大きなお金で、どれ位の利子を生むか、どのように運用・管理するか等、国民にわかりやすい資料を作って欲しい。
- リサイクル社会構築の1つが自動車リサイクル。費用負担者である国民の理解を得るためにも資金運用・管理等の公表にあたっては工夫が必要。
- 業務規程（案）には理事長が別に定める「倫理規程」「情報公開規程」に従う旨の記載があるが、次回以降速やかに提示されたい。
- 外部監査のうち業務監査については、具体的内容について吟味する必要がある。

以上